

中之又小だより

聡く・美しく・逞しく

NO17 平成20年10月17日

晩秋の夜の静けさを打ち破るかのように、時折鹿が啼くようになりました。朝夕は肌寒さを感じるほどになりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので気を付けたいです。義和さん・正子さん宅でお世話になっている稲は、たわわに実り黄金色に輝くほどになりました。5月に田植えをしてから、これまで水の管理や施肥、病気の予防、猪や鹿対策などをしていただきました。今も猪から稲を守るために電柵や獅子脅しなどをしてもらっています。10月9日には、倒れている稲を半分ほど刈り取り、掛け干しにしました。刈り残した稲は20日(月)に刈り取ります。今年の稲も餅米で、2学期末に餅つき大会を行います。子どもたちは、今から楽しみにしています。

中之又・石河内線道路通行止め

今年の台風で道路が決壊し、仮橋が架かっていて瀧谷橋の架け替えがあり、暫く通行止めになりました。仕事で通勤する方や木城町方面に用事で行き来する方は、不便を強いられました。45分ほどで行ける道のりを迂回路の日向回りだと1時間30分はかかりました。

学校に給食を運んでくださる給食車の木村さんや郵便物等の配達をしてくださる餅丸さんは、通行止め期間中日向回りで届けてくれました。ありがとうございました。その道路も3日早く通れるようになりました。



フッ化物洗口

中之又小学校でもフッ化物洗口を週1回実施しています。これは、むし歯予防対策事業として県の財政支援を受けて木城町が地域歯科医師会等と協力して積極的に子どもたちの歯の健康を守るために行うものです。保護者の皆さんからも賛同を得ての実施です。歯磨きをしっかりと後に1分間、洗口液でぶくぶくうがいします。きっと子どもたちの歯が丈夫になると思います。

航空写真撮影

10月8日に運動場で航空写真を撮りました。地域の皆様にも協力していただき無事に撮影することができました。近いうちに写真の見本が届くと思います。届いたらお知らせいたします。お楽しみに。

10月14日付 宮日新聞のミニみにミニに次のような記事が出ていました。
「大活躍の木城町・中之又小児童に続け～。地区住民が本紙(宮日新聞)文芸欄への投稿に意欲。」とありました。以下はそのこぶ山倶楽部の作品です。

短歌	
にぎやかな孫の声聞きふと思う その子の母の幼かりし日	中武 正子
幼き日螢を追ひし友が又 幽玄界のほたるとなりて	長友 綾子
孫の家見事になりし丸かぼちゃ あと送り来てなんと嬉しさ	黒木 ヒト江
山鳩のかなしき声に聞きとれて 姿いずこと探しみるかな	長友 春子
夕焼けが薄れたあせ道戻る刻 会つ人もなし冴える半月	原 朋輝
郷の秋土手一面に彼岸花 赤赤赤と咲きほこりてあり	黒木 逸郎
俳句 小魚に足つかれて遊びけり	長友 綾子
団子の葉夢中に取りし個の時間	黒木 ヒト江